

つくる会 FAX 通信

第 262 号 平成 21 年(2009 年) 8 月 24 日(月) 送信枚数 3 枚

TEL 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048 <http://www.tsukurukai.com>

高校教科書検定基準に対するパブリックコメント 「つくる会」の意見を文部科学省に提出 各支部・会員からも積極的に応募してください 意見公募締切は平成 21 年 9 月 6 日(日)

去る 8 月 7 日、文部科学省の教科用図書検定調査審議会が開催され、高等学校教科用図書検定基準(案)が了承され、公表されました。この検定基準につき、文部科学省は現在、意見公募(パブリックコメント)を求めています。

新しい歴史教科書をつくる会は歴史教育の改善を求め、中学校の歴史教科書、公民教科書の刷新に取り組んでおりますが、もとより同じ課題は高等学校においても同様の状況にあります。そこで、高等学校の歴史教育、公民教育の改善のため、この意見公募に応じることにいたしました。会員の皆様もつくる会の意見に準じて奮って意見公募に応じたいと思います。

つくる会としては、以下の 8 点について、それぞれ個別に提出いたしました。

1. 広義の宗教教育の充実強化について

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

新教育基本法において広義の宗教教育の重要性が確認されました。宗教は心の問題であるとともに社会の全ての面において重要な意味を持っています。宗教上の偉大なる先人たちの努力や、心の平安と救済を目指している各宗教宗派の理念などを学ぶことは、子供たちの心の成長発達によい影響を与えます。

したがって、全ての教科・科目において、特定の宗教に偏ることなく、各宗教について公正に扱うように配慮しながら、宗教に触れる教材を増やし、本来の日本人として、正当な宗教の知識と理解が進むような教科書がつくられる必要があると考えます。

2. 自衛隊の国防と国際貢献に果たしている役割について

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

自衛隊の我が国の防衛と安全に果たしている役割は重要です。併せて自衛隊の国際貢献が世界で高く評価されています。自衛隊はこのような重要な役割を果たし、高く評価されながら、教科書ではあまり肯定的に記述されてきませんでした。自衛隊のこの国防上の役割と国際貢献について、教科書で詳しく記述するようにしてください。

3. 領土問題、拉致問題について

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

我が国の主権にかかわる「領土」や「拉致」の問題については、我が国がとっている公的な見解が掲載される必要があります。

我が国は四方を海で囲まれていることから国民の間に国境意識、領土意識が希薄ですが、そのためにも我が国の領土・領海の範囲を教科書できちんと記述しておくことが必要です。我が国の領土・領海の範囲、北方四島、竹島、尖閣、南鳥島、沖ノ鳥島などに

ついでに我が国の立場を教え、国土に対する愛情や国土保全の心情を育み、我が国の国土の現状と歴史について正しい理解に導かなければなりません。

4．自虐的な歴史記述の排除について

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

歴史教科書については、生徒が偏った見解を持たないように、自虐的な歴史記述を排除し、近隣諸国条項を廃止し、我が国の歴史に誇りの持てる教科書にしなければなりません。日本の歴史と中国・韓国の歴史との違いもふまえ、日本が平和で世界の歴史に遅れることなく発展し、世界の歴史に貢献したことが分かるように教科書が作られなければなりません。

5．特定の政治主張に誘導することのないようにすることについて

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

ジェンダーフリー、夫婦別姓、外国人地方参政権など、国家の政策として成立していない事案について、一定の結論に誘導するような政治的意図のある教科書の記述は、明らかに新教育基本法に定める政治的中立の条項に反し、学習指導要領の規定から逸脱するものです。このような偏向した記述はすみやかに削除されなければなりません。

6．「愛国心」「公共の精神」「豊かな情操」の育成について

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

新教育基本法及び学習指導要領に盛り込まれている「愛国心」「公共の精神」「豊かな情操」の育成は現在の教育の混迷にかんがみて、特に重要です。教科書の検定審査に際しては新教育基本法及び学習指導要領の規定と一致する教科書になるよう厳密に審査されることを強く望みます。

7．天皇への理解と敬愛の念を深める教育について

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

我が国は長い歴史と伝統と文化を有している立憲君主国です。そのことは、天皇は日本国の象徴であり、国民統合の象徴であるという日本国憲法の規定からしても明らかです。そうだとすれば小学校学習指導要領の規定にあるように「天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにすること」は、高等学校教育においても不可欠と考えられます。したがって、歴史教育、公民教育の教科書ではもちろん、全ての教科書が天皇への理解と敬愛の念を深めるように工夫されなければなりません。我が国国民は天皇を中心にしていちじくして進取の気性に満ちた国民性を築きあげたことが分かるように教科書の検定審査をしていただきたいと思えます。

8．「倫理」の教科書の充実強化について

高等学校教科用図書検定基準案について意見を申し上げます。

現在、高等学校公民科に属する「倫理」は、かつては高等学校教育において必修であり、それゆえに高等学校では特設「道徳」は置かないことにしたという経緯があります。しかし、現在は全ての高等学校生徒が履修するような必修教科とはなっておりません。また、大学教育にあっても、教養教育の解体が進み、現在日本の青少年は哲学や倫理を学ぶ機会がいちじるしく減少してきております。「倫理」は哲学を含み、青少年の生き方にいちじるしくかかわる科目であり、心の成長発達のいちじるしい高等学校生徒にとって非常に重要な科目です。

ついでに、「倫理」について、生徒の生き方にさらにいっそう参考となるように教科書が工夫されると同時に、高等学校において「倫理」の授業が促進されるよう指導されることを望みます。

1.【高等学校教科用図書検定基準案について
パブリックコメント応募要項】

意見提出期限 平成 21 年 9 月 6 日（日） 必着

意見の提出先

(1)電子メール アドレス: pckentei@mext.go.jp

(2)郵送の場合（6日必着なのでご注意ください）

〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関 3-2-2

文部科学省初等中等教育局教科書課企画係 宛

(3)FAX の場合 03 - 6734 - 2435

< 注意事項 >

意見提出に必要な項目

件名「高等学校教科用図書検定基準案について」

氏名、性別、年齢、職業、住所、電話番号、意見
メールの場合、ウイルス対策から添付ファイルは開封されません。

複数の論点の意見を寄せる場合

1メール1意見、1枚1意見 としてください。

提出する意見について

例文を利用して、一言でも結構ですからご意見をお寄せください。
メールで広くよびかけたり、コメントの上記様式をコピーして周囲の
方に協力をいただくなど、一人でも多くの皆様にコメントを寄せてい
ただくようお願いいたします。

一通に複数項目の意見を書いた場合一件としかカウントされませ
ん。たくさんの意見を提出される方は電子メールの場合は複数回に分
けて、郵送・FAXの際は用紙を分けてご送付ください、

法人、又は団体として集約した意見を提出する場合、氏名は「団体
名」、職業は「団体」、住所は「団体の主たる住所」を記載してくださ
い。

資料は文部科学省HPのパブリックコメントコーナーから閲覧で
きます。

(<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public>)